

理事長	園長		会計	担当者

第二号第四様式
(第二十三条第四項関係)

鶴ヶ峰保育園拠点区分 事業活動計算書

(自) 2018年4月1日 (至) 2019年3月31日

法人名：社会福祉法人 ちとせ会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A) - (B)
サービス活動増減の部	保育事業収益	125,039,748	133,550,346	△8,510,598
	委託費収益	94,486,910	92,815,540	1,671,370
	委託費基本分収益	68,752,830	66,607,700	2,145,130
	処遇改善等加算(基礎分)	10,015,120	8,936,700	1,078,420
	所長設置加算	7,670,640	7,376,670	293,970
	3歳児配置改善加算	1,170,460	1,210,440	△39,980
	主任保育士専任加算	3,554,920	3,502,170	52,750
	事務職員雇上費加算	637,690	635,040	2,650
	冷暖房費加算	85,030	83,160	1,870
	施設機能強化推進費加算		149,940	△149,940
	栄養管理加算	119,680	119,700	△20
	処遇改善等加算2-1	2,480,540	2,479,680	860
	第三者評価受審加算		149,940	△149,940
	その他		1,564,400	△1,564,400
	利用者等利用料収益	724,511	637,334	87,177
	利用者等利用料収益(一般)	564,347	514,734	49,613
	その他の利用料収益	160,164	122,600	37,564
	その他の事業収益	29,828,327	40,097,472	△10,269,145
	補助金事業収益(公費)	29,654,417	38,725,902	△9,071,485
	補助金事業収益(一般)	173,910	1,371,570	△1,197,660
サービス活動収益計(1)	125,039,748	133,550,346	△8,510,598	

理事長	園長		会計	担当者

第二号第四様式
(第二十三条第四項関係)

鶴ヶ峰保育園拠点区分 事業活動計算書

(自) 2018年4月1日 (至) 2019年3月31日

法人名：社会福祉法人 ちとせ会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	人件費	104,836,706	95,455,236	9,381,470
	職員給料	53,157,582	46,891,226	6,266,356
	職員俸給	34,529,161	33,384,259	1,144,902
	職員諸手当	18,628,421	13,506,967	5,121,454
	職員賞与	13,925,152	19,126,812	△5,201,660
	賞与引当金繰入	6,980,000		6,980,000
	非常勤職員給与	4,439,573	6,220,355	△1,780,782
	派遣職員費	14,493,400	11,686,406	2,806,994
	退職給付費用	2,028,500	1,888,841	139,659
	退職給付引当金繰入	1,272,000	1,032,970	239,030
	退職給付費用	756,500	855,871	△99,371
	法定福利費	9,812,499	9,641,596	170,903
	事業費	14,250,715	12,567,772	1,682,943
	給食費	6,602,324	4,482,034	2,120,290
	保健衛生費	117,959	101,454	16,505
	保育材料費	1,681,699	1,589,219	92,480
	水道光熱費	2,700,574	2,758,246	△57,672
	消耗器具備品費	1,436,080	1,832,189	△396,109
	保険料	94,675	378,255	△283,580
	賃借料	1,367,106	1,384,125	△17,019
	車両費	238,258	20,090	218,168
	雑費	12,040	22,160	△10,120
	事務費	7,770,052	8,158,796	△388,744
	福利厚生費	662,109	673,435	△11,326
	旅費交通費	7,738	20,710	△12,972
	研修研究費	250,235	137,306	112,929
	事務消耗品費	226,276	307,927	△81,651
	印刷製本費	474,157	591,716	△117,559
	修繕費	1,287,478	1,692,479	△405,001
	通信運搬費	642,119	616,467	25,652
	会議費	20,655	6,252	14,403
	業務委託費	3,356,233	3,265,837	90,396
	手数料	101,272	101,736	△464
	租税公課	43,000	33,600	9,400
	保守料	380,160	380,160	
	渉外費		10,000	△10,000
	諸会費	163,900	166,000	△2,100
	雑費	154,720	155,171	△451
	減価償却費	2,947,663	2,588,363	359,300
	減価償却費	2,947,663	2,588,363	359,300
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△486,135	△385,103	△101,032
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△486,135	△385,103	△101,032
	サービス活動費用計(2)	129,319,001	118,385,064	10,933,937
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△4,279,253	15,165,282	△19,444,535

理事長	園長		会計	担当者

第二号第四様式
(第二十三条第四項関係)

鶴ヶ峰保育園拠点区分 事業活動計算書

(自) 2018年4月1日 (至) 2019年3月31日

法人名：社会福祉法人 ちとせ会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	6,707	4,191	2,516
		受取利息配当金収益	6,707	4,191	2,516
		その他のサービス活動外収益	1,828,090	1,539,806	288,284
		受入研修費収益	174,000	175,000	△1,000
		利用者等外給食収益	1,116,910	1,024,375	92,535
		雑収益	537,180	340,431	196,749
		サービス活動外収益計(4)	1,834,797	1,543,997	290,800
	費用	その他のサービス活動外費用		1,024,375	△1,024,375
		利用者等外給食費		1,024,375	△1,024,375
		サービス活動外費用計(5)	0	1,024,375	△1,024,375
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		1,834,797	519,622	1,315,175	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△2,444,456	15,684,904	△18,129,360	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		931,000	△931,000
		施設整備等補助金収益		931,000	△931,000
		特別収益計(8)	0	931,000	△931,000
	費用	固定資産売却損・処分損	1		1
		器具及び備品売却損・処分損	1		1
		国庫補助金等特別積立金積立額		931,000	△931,000
		国庫補助金等特別積立金積立額		931,000	△931,000
		拠点区分間繰入金費用	3,076,497	3,275,140	△198,643
		拠点区分間繰入金費用	3,076,497	3,275,140	△198,643
		特別費用計(9)	3,076,498	4,206,140	△1,129,642
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△3,076,498	△3,275,140	198,642	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△5,520,954	12,409,764	△17,930,718	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		29,213,609	28,703,845	509,764
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		23,692,655	41,113,609	△17,420,954
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		16,000,000	0	16,000,000
	修繕積立金取崩額		16,000,000		16,000,000
	その他の積立金積立額(16)		2,000,000	11,900,000	△9,900,000
施設整備等積立金積立額		2,000,000	11,900,000	△9,900,000	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		37,692,655	29,213,609	8,479,046	

※本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。
 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。